



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3909

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	52,036	△1.6	2,803	△34.1	2,933	△32.2	1,707	△33.2
26年3月期第3四半期	52,880	2.9	4,256	14.8	4,327	11.3	2,556	△9.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,366百万円 (△16.8%) 26年3月期第3四半期 2,845百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	24.00	—
26年3月期第3四半期	35.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	84,079	46,577	54.5	644.93
26年3月期	85,643	45,460	52.2	626.80

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 45,810百万円 26年3月期 44,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	5.50	—	8.50	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	71,000	△2.5	4,000	△36.2	4,000	△37.0	2,600	△31.3	36.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	78,698,816 株	26年3月期	78,698,816 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	7,667,126 株	26年3月期	7,350,749 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	71,126,217 株	26年3月期3Q	71,669,873 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策等を背景に、回復基調での推移が期待されましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動が長期化したことや、在庫調整等によりGDPが2四半期連続でマイナス成長となる等、景気回復のテンポは鈍化している状況となっております。

加えて、円安の進行、高水準で推移する原材料価格、海外景気の下振れ等の懸念材料も内在しており、予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は520億3千6百万円（前年同四半期比1.6%減）となりましたが、原材料費・電力料等の上昇及び売上品種構成の変化により、営業利益は28億3百万円（前年同四半期比34.1%減）、経常利益は29億3千3百万円（前年同四半期比32.2%減）、当四半期純利益は17億7百万円（前年同四半期比33.2%減）となりました。

各セグメントの概況は、次のとおりであります。

住環境事業

住設資材部門は、消費税増税前の駆け込み需要の反動が続き、戸建住宅の新設住宅着工戸数が前年同四半期比で大幅なマイナスとなった影響により、住宅資材・管工機材とも売上は前年同四半期を下回りました。

採光建材部門は、大雪による補修・建替え需要が夏場に終息し、その後はこれら需要の先食いと住宅・非住宅の需要減及び工期遅れにより市況が低調に推移しました。しかし、新規販路開拓が貢献して全体の売上は前年同四半期を上回りました。

環境・土木部門は、設計織り込み済み公共物件の工期遅延が長引き、納入が進まず、売上は前年同四半期を下回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル資材）において、政令指定都市の受注済み物件の材料納入が順調に進み、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、住環境事業の売上高は、270億5千5百万円（前年同四半期比3.7%減）となり、品種構成の影響により、営業利益は、8億5千9百万円（前年同四半期比52.8%減）となりました。

床事業

床事業は、高付加価値製品の売上は堅調に推移しましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動が長引き、主力のマンション改修向け製品の売上が減少しました。

その結果、床事業の売上高は、72億6百万円（前年同四半期比12.2%減）、営業利益は、14億3千4百万円（前年同四半期比34.9%減）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、国内の装置向け材料は低調でしたが、韓国・中国における半導体・液晶工場の設備案件を獲得し、輸出が好調でした。また、工作機械カバー用途や雑貨用途向け透明材料が堅調に推移し、全体で前年同四半期を上回りました。

また、ポリカプレート部門も、工作機械カバー用途向けが好調で前年同四半期を上回りました。

その他、サイン分野は大型物件の獲得、タンク分野は国内設備投資需要の回復基調を受け、切削用材料分野は販売が堅調に推移したため、各分野とも売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は、164億6千3百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は、6億1千9百万円（前年同四半期比114.3%増）となりました。

メディカル事業

メディカル事業は、顎顔面外科分野の「スーパーフィクソープMX」の国内向け売上は順調に推移しましたが、その他各分野向けの売上は整形外科分野等を中心とする「スーパーフィクソープ」とともに、保険償還価格の下落の影響及び市中の在庫調整の影響も受け、前年同四半期を下回りました。

その結果、メディカル事業の売上高は、13億1千万円（前年同四半期比17.1%減）、営業損失は、1億9百万円（前年同四半期は5千5百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より15億6千3百万円減少し、840億7千9百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことにより、流動資産が24億1千2百万

円減少したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より26億8千万円減少し、375億1百万円となりました。これは主に未払法人税等が減少したことにより、流動負債が24億4千1百万円減少したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より11億1千6百万円増加し、465億7千7百万円となりました。自己資本比率は、54.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきまして、消費税増税前の駆け込み需要の反動による国内市場の落ち込み及び公共物件の工期遅延等により販売が低下したため、通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益共に業績予想を下回る見込みとなりました。

このような状況を勘案いたしまして、通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表しました予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	75,000	5,300	5,300	3,400	47.90
今回修正予想(B)	71,000	4,000	4,000	2,600	36.57
増減額(B-A)	△4,000	△1,300	△1,300	△800	—
増減率(%)	△5.3	△24.5	△24.5	△23.5	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	72,856	6,269	6,351	3,788	52.88

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金、並びに、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,075	10,754
受取手形及び売掛金	27,158	26,433
商品及び製品	6,708	7,493
仕掛品	1,969	2,363
原材料及び貯蔵品	1,687	1,766
繰延税金資産	732	716
その他	820	1,208
貸倒引当金	△23	△18
流動資産合計	53,129	50,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,454	7,842
機械装置及び運搬具（純額）	4,557	4,364
土地	9,902	9,848
建設仮勘定	574	816
その他（純額）	1,012	1,016
有形固定資産合計	23,502	23,888
無形固定資産		
のれん	94	37
その他	523	477
無形固定資産合計	617	514
投資その他の資産		
投資有価証券	3,266	3,784
繰延税金資産	4,168	3,990
退職給付に係る資産	117	129
その他	976	1,171
貸倒引当金	△135	△117
投資その他の資産合計	8,393	8,958
固定資産合計	32,513	33,362
資産合計	85,643	84,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,660	15,466
短期借入金	2,250	1,969
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	1,734	169
賞与引当金	978	451
関係会社整理損失引当金	—	93
その他	3,730	3,761
流動負債合計	24,853	22,411
固定負債		
長期借入金	300	300
繰延税金負債	866	858
役員退職慰労引当金	7	9
退職給付に係る負債	12,759	12,519
資産除去債務	204	205
その他	1,190	1,197
固定負債合計	15,328	15,090
負債合計	40,182	37,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	18,659	19,276
自己株式	△2,152	△2,316
株主資本合計	46,363	46,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	720	1,064
為替換算調整勘定	△24	15
退職給付に係る調整累計額	△2,337	△2,085
その他の包括利益累計額合計	△1,642	△1,005
少数株主持分	739	767
純資産合計	45,460	46,577
負債純資産合計	85,643	84,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	52,880	52,036
売上原価	34,865	35,110
売上総利益	18,014	16,926
販売費及び一般管理費	13,758	14,122
営業利益	4,256	2,803
営業外収益		
受取配当金	85	81
持分法による投資利益	37	63
その他	108	109
営業外収益合計	231	253
営業外費用		
支払利息	45	27
売上割引	41	40
支払補償費	30	—
その他	43	55
営業外費用合計	160	123
経常利益	4,327	2,933
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	278	7
特別利益合計	280	9
特別損失		
固定資産処分損	25	13
投資有価証券売却損	8	19
投資有価証券評価損	—	26
関係会社整理損失引当金繰入額	—	123
減損損失	192	130
特別損失合計	226	315
税金等調整前四半期純利益	4,381	2,627
法人税等	1,844	899
少数株主損益調整前四半期純利益	2,537	1,728
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△19	21
四半期純利益	2,556	1,707

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,537	1,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	348
為替換算調整勘定	21	37
退職給付に係る調整額(税引前)	—	251
持分法適用会社に対する持分相当額	4	7
その他の包括利益合計	307	644
四半期包括利益	2,845	2,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,854	2,343
少数株主に係る四半期包括利益	△8	30

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,081	8,203	15,015	1,579	52,880	—	52,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	7	16	—	41	(41)	—
計	28,099	8,210	15,032	1,579	52,922	(41)	52,880
セグメント利益 又は損失(△)	1,821	2,201	288	△55	4,256	—	4,256

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,055	7,206	16,463	1,310	52,036	—	52,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33	11	51	—	95	(95)	—
計	27,088	7,218	16,515	1,310	52,132	(95)	52,036
セグメント利益 又は損失(△)	859	1,434	619	△109	2,803	—	2,803

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。